

2010年度環境活動レポート

(対象期間：2010年7月～2011年6月)

2011年5月20日 発行

2011年8月31日 改定

contents

表紙	P1
目次	P2
1)組織の概要	
【対象事業所・対象事業活動・全社の組織/サイトの取り組み状況・認証/登録範囲】	P3
2)環境方針	P4
3)環境目標とその実績	P5・6
4)主要な環境活動計画内容及び取り組み結果の評価	P7～P9
5)環境関連法規制等への違反・訴訟の有無	P10
6)次年度の取り組みについて	P11・12
7)代表者による全体評価と見直しの結果	P13

1) 会社概要

事業規模

社名	ナベプロセス(株)本社	設立	1979年
住所	香川県高松市木太町2477-1	資本金	2700万円
代表取締役会長	鍋坂忠男	従業員数	175名
代表取締役社長	鍋坂秀樹		

対象事業所

社名	所在地	電話 fax	環境管理責任者	担当者	対象/ 未対象
ナベプロセス(株)本社	香川県高松市木太町 2477-1	087-833-7171 087-862-3331	川口卓二 【課長】	藤本剛 【リター】	対象
ナベプロセス(株)大阪支社	大阪府大東市諸福4丁目 5-5	072-889-6100 072-889-6030	中西宏暢 【常務取締役】	大山大輔【次長】 神之口寿【課長】	対象
ナベプロセス(株)岡山営業所	岡山県岡山市南区藤田 564-138	086-296-6969 086-296-7580	達城匡生 【課長】	樋本道成 【課長】	対象
ナベプロセス(株)サテライトヒル	香川県木田郡三木町 2876-33	087-840-2121 087-840-2122	川口卓二 【課長】	多田篤史 【リター】	対象
ナベプロセス(株)東京支社	千葉県柏市大青田691-1	04-7131-0200 04-7131-0220	-	-	2012年登録 審査予定

認証/登録範囲: グラビアシリンダーの製造及び販売に係る業務。

フレキソ印刷製品・フレキソ版の製造及び販売に係る業務。

環境方針

1. 基本理念

ナベプロセス株式会社は、グラビア製版・フレキソ印刷・フレキソ製版の事業活動を通じて、環境にやさしい製造工程を目指し、常に目標を持って日々の業務に取り組みます。

2. 基本方針

(1) ナベプロセス株式会社の事業活動全般における環境負荷を削減するために次の活動に取り組みます。

- ① 省エネルギー【二酸化炭素排出量の削減】
- ② 廃棄物の分別の徹底と削減
- ③ 紙資源の節約
- ④ 水資源の節減
- ⑤ 化学物質の管理の徹底と使用量削減
- ⑥ グリーン購入の推進
- ⑦ 不適合品発生率の低減

(2) エコアクション21環境経営システムを構築・運用し、環境汚染の防止に努め、継続的な改善を図ります。

(3) 環境関連法規制等を遵守します。

(4) 具体的な環境目標、及び行動計画を策定します。

(5) この環境方針は社会に公開し、全社員に周知徹底します。

制定日：2008年12月1日

ナベプロセス株式会社

代表取締役社長

鍋坂 秀樹

3)環境目標とその実績①

○2010年度:2010/7/1~2011/6/30

項目		基準年	本社	大阪支社	岡山	サテライト	合計
		2010年度	2010年度	2010年度	2010年度	2010年度	2010年度
省エネルギー	目標	69,335,374	21,168,737	18,320,421	993,451	28,852,765	69,335,374
(MJ)	実績	69,772,028	20,786,310	17,690,912	833,670	30,461,136	69,772,028
(kg-CO ₂)	CO ₂	2,962,369	928,792	618,752	54,797	1,360,028	2,962,369
上水使用量	目標	23,289	8,555	6,733	0.163	8,001	23,289
(m ³)	実績	22,438	7,406	6,808	0.155	8,224	22,438
廃棄物処分量	目標	21.1	8.22	5.99	0.163	6.76	21.1
(t)	実績	21.7	7.92	6.69	0.155	6.97	21.7
化学物質使用量	目標	7.6	2.84	2.94	0.546	1.24	7.6
トリエン(t)	実績	6.5	2.74	2.34	0.478	0.90	6.5
紙使用量	目標	22.7	14.5	1.08	1.028	6.05	22.7
(t)	実績	21.2	14.4	1.21	0.858	4.76	21.2
CO₂合計	実績	2,962,369	928,792	618,752	54,797	1,360,028	2,962,369
(Kg-CO₂)							

※省エネルギーは、電力使用量・燃料使用量(自動車燃料・ガス使用量・LPG使用量)が含まれています。

※電力のCO₂排出係数はH21年度の電気事業社別二酸化炭素排出係数【関電:0.294kg-CO₂/KWh】

※電力のCO₂排出係数はH21年度の電気事業社別二酸化炭素排出係数【四電:0.407kg-CO₂/KWh】

※電力のCO₂排出係数はH21年度の電気事業社別二酸化炭素排出係数【中国電力:0.628kg-CO₂/KWh】

3)環境目標とその実績②

○単年及び中長期

		年度	本社	大阪支社	岡山	サテライト
エネルギー使用量	目標	基準年	20,786,310	17,690,912	833,670	30,461,136
(MJ)	基準年-1%	2011年度	20,578,447	17,514,002	825,333	30,156,524
	基準年-2%	2012年度	20,370,584	17,337,093	816,996	29,851,913
	基準年-3%	2013年度	20,162,721	17,160,184	808,659	29,547,301
上水使用量	目標	基準年	7,406	6,808	0.155	8,224
(m ³)	基準年-1%	2011年度	7,332	6,739	0.153	8,141
	基準年-2%	2012年度	7,258	6,671	0.152	8,059
	基準年-3%	2013年度	7,184	6,603	0.150	7,977
廃棄物処分量	目標	基準年	7.92	6.69	0.478	6.97
(t)	基準年-1%	2011年度	7.85	6.62	0.473	6.90
	基準年-2%	2012年度	7.77	6.55	0.468	6.83
	基準年-3%	2013年度	7.69	6.48	0.464	6.76
化学物質使用量	目標	基準年	2.74	2.33	-	0.90
トルエン(t)	基準年-1%	2011年度	2.71	2.31	-	0.89
	基準年-2%	2012年度	2.68	2.28	-	0.88
	基準年-3%	2013年度	2.66	2.26	-	0.87
紙使用量	目標	基準年	14.4	1.21	0.858	4.76
(t)	基準年-1%	2011年度	14.3	1.19	0.849	4.71
	基準年-2%	2012年度	14.1	1.18	0.841	4.66
	基準年-3%	2013年度	14.0	1.17	0.832	4.62
CO2合計	目標	基準年	928,792	618,752	54,797	1,360,028
(Kg-CO ₂)	基準年-1%	2011年度	919,504	612,564	54,249	1,346,427
	基準年-2%	2012年度	910,216	606,376	53,701	1,332,827
	基準年-3%	2013年度	900,928	600,189	53,153	1,319,227

※省エネルギーは、電力使用量・燃料使用量(自動車燃料・ガス使用量・LPG使用量)が含まれています。

4) 主要な環境活動計画内容及び取り組結果の評価①

○2010年度

		本社	大阪支社	岡山	サテライト
電力 使用量 の削減	活動	1.できるだけこまめに電源を切る 2.節電シールの貼り付け 3.室温(冷房下限28度、暖房上限21度)に調整する	1.昼休み一斉消灯 2.部分消灯 3.待機電力の調査 4.不適合品の削減	1.部分消灯 2.不要時消灯(パソコン含む) 3.昼休み時間の原則一斉消灯 4.室温(冷房下限28℃、暖房上限21℃)に調整 5.節電シールの掲示 6.月1回EA21委員による抜き打ち検査	1.できるだけこまめに電源を切る 2.節電シールの貼り付け 3.クレーム、工程内のやり直しの削減
	評価	環境活動の取り組みが定着し、目標を達成できた。	今年は前期より一層社員への節電意識が向上しており、実績も目標達成の結果となった。来期もこの意識を持続して継続できるように取り組む。	目標数値を達成することができた。今後も継続していくことが必要。取組は担当者だけでなく従業員全員に朝礼を通じ周知徹底して協力を仰ぐ	生産量が増えた為、総量での目標は未達成となったが、原単位では削減できており環境活動の効果は出ている。
燃料 使用量 の削減	活動	1.営業車ごとの燃料使用量の把握 2.体験型エコドライブ講習会に参加する	1.構内アイドリングSTOP 2.車両別の燃費の把握(ハイオク/レギュラー/軽油) 3.定期的な空気圧のチェック(3ヶ月)	1.営業担当者ごとの燃料使用量の把握 2.構内アイドリングSTOP 3.ふんわりスタート 4.早めのアクセルオフ 5.定期的な空気圧のチェック(3ヶ月ごと)	1.運転担当者ごとの燃料使用量の把握 2.室温(冷房下限28度、暖房上限21度)に調整する 3.構内アイドリングSTOP
	評価	総量、燃費とも削減できた。エコドライブも定着してきている。	活動内容を営業車の燃費向上への取組に変更し、その成果は、各営業担当者の意識改革にもつながり結果は出てきている。	目標数値を大きくクリアし達成ができた。今後も継続していくことが必要。燃料は7月-6月前年1,317,751円→今年1,121,323円で196,428円の削減効果。ガスは7月-6月前年34,154円→今年32,713円で1,441円の削減効果。	原単位では削減できているが、総量で大幅な目標未達成となっている。活動内容の見直しが必要。
上水 使用量 の削減	活動	1.設備の点検、管理を見直し必要以上の水 洗水の削減 2.製造以外の減圧調整(節水コマ)	1.節水シールによる啓発 2.漏水箇所等パッキンの点検強化	1.節水シールの掲示 2.出しっぱなしにしない 3.EA21委員による節水周知(月1回) 4.月1回EA21委員による抜き打ち検査	1.設備の点検、管理を見直し必要以上の 水洗水の削減 2.製造以外の減圧調整(節水コマ) 3.クレーム、工程内のやり直しの削減
	評価	品質を維持しながら、製造現場でも水使用量の削減ができた。	節水シール等による啓発活動はできているものの、実績としては目標達成とならなかった。設備更新の工事が続いているが、それが完了する来期には是非期待をする。	目標数値を達成することができた。今後も継続していくことが必要。取組は担当者だけでなく従業員全員に朝礼を通じ周知徹底して協力を仰ぐ 7月-6月前年23,056円→今年21,628円で1,428円の削減効果。	生産量が増えた為、総量での目標は未達成となったが、原単位では削減できており環境活動の効果は出ている。

4) 主要な環境活動計画内容及び取り組結果の評価②

○2010年度

		本社	大阪支社	岡山	サテライト
紙使用量の削減	活動	1.コピー用紙の両面・裏面刷り 2.メモ書きはミス、廃コピー用紙、カレンダーなどの裏紙をできるだけ使用する。 3.ペーパーレス会議の推進	1.コピ-用紙の両面刷り 2.削減対象文書の取決め 3.ペ-パ-レス会議の推進	1.コピ-用紙の両面刷り、裏面刷り 2.メモ書きはミス・廃コピー用紙・カレンダーの裏利用 3.出力前にあいまいな内容を確認する 4.出力のミスを減らす 5.月1回EA21委員による抜き打ち検査	1.コピー用紙の両面・裏面刷り 2.メモ書きはミス、廃コピー用紙、カレンダーなどの裏紙をできるだけ使用する。 3.ペーパーレス会議の推進
	評価	紙の節約への意識、再利用の意識が定着し、目標を達成できた。	実績としては結果が出ていない。活動内容としては、色々取り決めているが、未達成の原因究明が不十分である。今一度、調査の徹底と管理が必要である。	目標数値を大きくクリアし達成ができた。 今後も継続していくことが必要。 取組は担当者だけでなく従業員全員に朝礼を通じ周知徹底して協力を仰ぐ	大幅に削減でき、目標達成できた。 今後も活動を継続していく。
廃棄物処分量の削減	活動	1.分別の徹底とリサイクル 2.クレーム、工程内のやり直しの削減	1.ゴミの分別の明確化 2.排出方法の見直し	1.分別区分・置き場所を決定。区分ごとに表示する 2.分別区分ごとに計量する 3.分別の徹底 4.月1回EA21委員による抜き打ち検査	1.分別の徹底とリサイクル 2.クレーム、工程内のやり直しの削減
	評価	産業廃棄物の削減は再利用化を中心に削減できたが、一般廃棄物の削減が目標に届かなかった。分別の徹底と再利用化を進める必要がある。	削減目標に対して今期は達成ならず。再度ゴミの分別においては明確に再分化をして管理の徹底を継続していく。	目標数値を達成することができた。 今後も継続していくことが必要。 取組は担当者だけでなく従業員全員に朝礼を通じ周知徹底して協力を仰ぐ	惜しくも目標未達成となった。 再資源化を更に進めると同時に、購入品の過剰梱包の削減依頼など取り組みを強化する必要がある。
化学物質使用量の削減	活動	1.トルエンを含まないインキの使用推進 2.トルエンを含む溶剤の使用量(購入量)の削減	1.溶剤の使用量削減 2.MSDSシートによる教育実施 3.所定場所での管理	-	1.トルエンを含まないインキの使用推進 2.トルエンを含む溶剤の使用量(購入量)の削減
	評価	トルエン使用量の削減目標は達成できた。トルエンを含まないインキの使用の更なる推進が必要。	校正課の使用インキタイプの変更改良もあり、また校正課をはじめ各現場での溶剤使用に対する意識改革もあり、目標を達成することが出来た。今後もこの状況を継続維持管理をしていくことが重要である。	-	トルエン使用量の削減目標は達成できた。トルエンを含まないインキの使用の更なる推進が必要。

4) 主要な環境活動計画内容及び取り組み結果の評価③

○2010年度

		本社	大阪支社	岡山	サテライト
グリーン購入の推進	活動	1.グリーン購入品の調査 2.グリーン購入が可能な物品の選定 3.グリーン購入の実施検討	1.グリーン購入品の調査 2.グリーン購入が可能な物品の選定 3.グリーン購入の実施検討	1.グリーン購入品の調査 2.グリーン購入が可能な物品の選定 3.グリーン購入の実施検討	1.グリーン購入品の調査 2.グリーン購入が可能な物品の選定 3.グリーン購入の実施検討
	評価	購入自体を把握し、代替え可能なものの選定する為の準備を早急に進める必要がある。	現在、社内においてグリーンマーク対象商品を既にどれだけ活用しているかを調査しており、そこから始めるこの活動で更に対象商品の拡充に努めていく。	購入自体を把握し、代替え可能なものの選定する為の準備を早急に進める必要がある。	購入自体を把握し、代替え可能なものの選定する為の準備を早急に進める必要がある。
ガス使用量の削減	活動	-	1.室温(冷房28℃暖房20℃)調整の実施 2.クールビズの実施	-	-
	評価	-	エアコンは、ここ大阪支社においてはガスヒーポンであるため、クールビズ政策による室温設定等の節電対策で大いに結果が出てきており、各従業員の意識改革は評価ができる。	-	-
不適合品発生率の低減	活動	1.外部クレーム率を0.1%以内 2.内部のやり直しを0.2%以内	1.外部クレーム率を0.1%以内 2.内部のやり直しを0.13%以内	-	1.外部クレーム率を0.1%以内 2.内部のやり直しを0.2%以内
	評価	わずかながら目標未達成となった。	ISO9001の品質管理とリンクしており、大阪支社においては、今期後半より品質管理の徹底ができており、クレーム品発せ規律は目標を数値を下回り、達成できている。	-	わずかながら目標未達成となった。

5) 環境関連法規制等への違反・訴訟の有無

関連法規制	適用される事項	本社	サテライト	大阪	岡山	遵守評価
環境基本法	事業活動に伴う公害を防止し自然環境の保全措置を講ずる。	✓	✓	✓	✓	○
グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択するように努める	✓	✓	✓	✓	○
地球温暖化対策推進法	温室効果ガスの排出の抑制のための措置を講ずるよう努め、国や地方公共団体の施策に協力する	✓	✓	✓	✓	○
エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)	エネルギー使用状況の届け出、エネルギー管理統括者選任届出、エネルギー管理企画推進者選任届出、中長期計画書提出、定期報告書提出	✓	✓	✓	✓	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	委託契約の締結。マニフェストの交付と5年間の保存義務	✓	✓	✓	-	○
特定工場に於ける公害防止組織の整備に関する法律	特定の業種のうち特定の施設を設置している工場(特定工場)を設置している事業者・特定事業者として、公害防止統括者の選任/届出・公害防止管理者の選任/届出	✓	✓	✓	-	○
騒音規制法	規制基準の厳守	✓	-	✓	-	○
振動規制法	特定施設の設置、変更の事前届け出	-	-	✓	-	○
土壌汚染対策法	有害物質使用特定施設の使用が廃止された時や土壌汚染により健康被害が生ずるおそれがあると都道府県知事が等が認めたときには土地所有者等は調査・報告する義務	✓	✓	-	-	○
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)	化学物質管理指針に留意することなど	✓	✓	✓	-	○
消防法	防火管理者の選任及び届出	-	✓	✓	-	○
毒物劇物取締法	業務上取扱者劇物の保管及び管理	✓	✓	✓	-	○
労働安全衛生法	有機溶剤予防規則	✓	✓	✓	-	○
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	小売業者の引き取り義務	✓	✓	✓	✓	○
Nox・PM法	Nox・PM排出基準の順守	-	-	✓	-	○
下水道法	排出基準の厳守	✓	-	✓	-	○
大阪府化学物質管理制度	管理化学物質の把握・届け出(H23年度～)	-	-	✓	-	○
水質汚濁防止法	排水基準・特定施設の設置の届出・許可・申請等	-	✓	✓	-	○
浄化槽法	設置の届出	-	✓	-	-	○

環境関連法規制等への違反はありません。環境関連法規制等の遵守状況について定期的に評価し、その結果問題はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

6) 次年度の取り組みについて① 2011年度

	本社	大阪支社	岡山	サテライト
電力 使用量 の削減	<p>環境目標:2010年度比-0.1%</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.部分消灯 2.不要時消灯(PC含む) 3.昼休み時間の原則一斉消灯 4.室温(冷房下限28°C、暖房上限21°C)に調整する。 5.環境管理委員による抜き打ち点検 	<p>環境目標:2010年度比-0.1%</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.昼休み一斉消灯 2.部分消灯 3.待機電力の調査 4.不適合品の削減 	<ol style="list-style-type: none"> 1.部分消灯(まびき消灯) 2.不要時消灯(パソコン含む) 3.昼休み時間の原則一斉消灯 4.室温(冷房下限28度、暖房上限21度)に調整する 5.節電シールの管理 6.月1回EA21委員による抜き打ち検査 	<p>環境目標:2010年度比-0.1%</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.部分消灯 2.不要時消灯(PC含む) 3.昼休み時間の原則一斉消灯 4.環境管理委員による抜き打ち点検
燃料 使用量 の削減	<p>環境目標:2010年度比-0.1%</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.アイドリングストップ 2.定期的な空気圧のチェック(1/3ヶ月) 3.体験型エコドライブ講習会に参加する 4.社内エコドライブ講習会の開催 5.エコ運転の推奨 6.エコドライブシールの貼り付け 	<p>環境目標:2010年度比-0.1%</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.アイドリングストップにて燃費を向上させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.営業担当者ごとの燃料使用量の把握 2.アイドリングSTOP 3.ふんわりスタート 4.早めのアクセルオフ 5.定期的な空気圧チェック 	<p>環境目標:2010年度比-0.1%</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.アイドリングストップ 2.定期的な空気圧のチェック(1/3ヶ月) 3.エコ運転の推奨
上水 使用量 の削減	<p>環境目標:2010年度比-0.1%</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.減圧調整 2.節水の啓発 3.環境管理委員による抜き打ち点検 	<p>環境目標:2010年度比-0.1%</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.節水シールによる啓発 2.漏水箇所等パッキンの点検強化 	<ol style="list-style-type: none"> 1.節水シールの管理 2.出しっぱなしにしない 3.月1回EA21委員による節水周知 4.月1回EA21委員による抜き打ち検査 	<p>環境目標:2010年度比-0.1%</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.減圧調整 2.漏水箇所等の点検強化 3.環境管理委員による抜き打ち点検
紙使用 量の削 減	<p>環境目標:2010年度比-0.1%</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.両面刷りの推奨 2.印刷ミス、廃コピー用紙のメモ紙利用 3.ペーパーレス会議の推進 4.出力用紙のミスの削減 5.環境管理委員による抜き打ち点検 	<p>環境目標:2010年度比-0.1%</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.コピー用紙の両面刷り 2.削減対象文書の取決め 3.ペーパーレス会議の推進 	<ol style="list-style-type: none"> 1.コピー用紙の両面刷り、裏面刷り 2.メモ書きはミス、廃コピー用紙、カレンダーなどの裏面を使用する 3.出力前にあいまいな内容を確認する 4.分色、出力ミスを減らす 5.月1回EA21委員による抜き打ち検査 	<p>環境目標:2010年度比-0.1%</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.社内間FAXの見直し 2.両面刷りの推奨 3.環境管理委員による抜き打ち点検

6) 次年度の取り組みについて②

2011年度

	本社	大阪支社	岡山	サテライト
廃棄物処分量の削減	環境目標:2010年度比-0.1% 1.分別の徹底 2.リサイクル化の推進 3.環境管理委員による抜き打ち点検	環境目標:2010年度比-0.1% 1.ゴミの分別の明確化 2.排出方法の見直し	1.分別区分、置き場所を決定・区分ごとに表示する 2.分別区分ごとに計算する 3.分別の徹底 4.月1回EA21委員による抜き打ち検査	環境目標:2010年度比-0.1% 1.分別の徹底 2.リサイクル化の拡大 3.環境管理委員による抜き打ち点検
化学物質使用量の削減	環境目標:2010年度比-0.1% 1.MSDSの完備と管理の徹底 2.社員への教育 3.環境管理委員による抜き打ち点検	環境目標:2010年度比-0.1% 1.溶剤の使用量削減 2.MSDSシートによる教育実施 3.所定場所での管理	-	環境目標:2010年度比-0.1% 1.MSDSの完備と管理の徹底 2.社員への教育 3.環境管理委員による抜き打ち点検
グリーン購入の推進	1.グリーン購入品の調査 2.グリーン購入が可能な物品の選定 3.グリーン購入の実施検討	1.グリーン購入品の調査 2.グリーン購入が可能な物品の選定 3.グリーン購入の実施検討	1.グリーン購入該当商品へ切り替え	1.グリーン購入品の調査 2.グリーン購入が可能な物品の選定 3.グリーン購入の実施検討
都市ガス使用量の削減	環境目標:2010年度比-0.1% 1.不要な使用の削減	環境目標:2010年度比-0.1% 1.室温(冷房28℃暖房20℃)調整の実施 2.クールビズの実施	-	環境目標:2010年度比-0.1% 1.室温(冷房28℃暖房20℃)調整の実施 2.クールビズの実施
不適合品発生率の低減	1.外部クレーム率を0.07%以内 2.内部のやり直しを0.18%以内	1.外部クレーム率を0.1%以内 2.内部のやり直しを0.13%以内	-	1.外部クレーム率を0.07%以内 2.内部のやり直しを0.18%以内

7) 代表者による全体評価と見直しの結果 2011年度

2011年3月11日に発生した東日本大震災以降、日本のみならず世界的に省エネルギー、環境負荷の削減は今後の大きな課題となり、企業の社会的な責任はますます増大している。このような状況の中で、ナベプロセスが取り組んでいるEA21環境経営システムの運用は2009年に認証・登録を受けた大阪支社に続いて、2010年6月に高松本社、2011年に6月にサテライトビル岡山営業所の4事業所に拡大している。

環境目標の5項目に対する2010年度4事業所の合計達成率は下記の通り

- ①省エネルギー/99.4% ②上水使用量/103.8% ③廃棄物処分量/97.2%
④化学物質使用量/116.9% ⑤紙使用量/107.1%

環境活動全般については、社員の環境負荷削減・環境活動の重要性への認識が浸透した結果2010年度の環境活動に対する成果は概ね評価出来るものとなったが、作業部署・作業時間帯によっては、不必要な空調の使用、照明の消し忘れなどがあり、改善の余地がある。2010年度の実績値の中で目標が未達成となった①省エネルギー③廃棄物処分量については未達成の原因を徹底的に分析し、2011年度に向けて達成のための具体的な活動計画を立てる必要がある。

2011年7月29日
ナベプロセス株式会社
代表取締役 鍋坂秀樹